

私の地域の自慢 —— 郷づくり推進協議会の事務局員に聞く

福間



▲山口 恵美さん

今年の松林ウォークは11月25日(日)。松林を歩きませんか。

宮司



▲三原 道雄さん

人も自然もいきいきと！みんなで育む、住みよい宮司！

津屋崎



▲大神 常男さん

「人良し、仲良し、地域良し」をモットーに活動しています。

勝浦



▲戸畑 貴子さん

白砂青松の勝浦海岸や新原・奴山古墳群。自然豊かな地域です。

Bさん 実は私も自治会長になって初めて

Cさん そうだよ。郷づくりが知られていないってことは、ずっと言われてきたことだよ。まだまだ「郷づくりって何？」って聞かれることがあるよ。

Eさん 子どもやお年寄りの居場所ができたことは、とても良かったわ。

Aさん 地域が子どもを育てる場になってるんだね。ところで、郷づくりって難しいイメージがあるんだけど、自治会と何が違うのか、よく分からないなあ。

Dさん 私は、子育てで支りに関わってきたけど、住民の「これがやりたい」ということが実現できたというのが一番うれしかったかな。子育てサロンなども、10年間続いて定着してきたわ。また、郷づくりを中心に、自治会や学校との横のつながりができて連携がとれるようになったのは、郷づくりの大きな効果かもしれないわね。

Bさん 知らない人から「郷づくりって何？」と尋ねられたときは「地域のコミュニティ協議会ですよ」と言えば、分かってもらえると思うよ。

Cさん 10年経っても郷づくりが定着しないのは、どうしてかな。ネットが斬新過ぎるのかも。

Eさん 郷づくりを全く知らない人から「郷づくりって何？」と尋ねられたときは「地域のコミュニティ協議会ですよ」と言えば、分かってもらえると思うよ。

Aさん 郷づくりのこと、知っている人から「郷づくりに参加するきっかけがある」といけど・・・。

Dさん 郷づくりのことは、知っている人から「郷づくりに参加するきっかけがある」といけど・・・。

Bさん 知らない人から「郷づくりって何？」と尋ねられたときは「地域のコミュニティ協議会ですよ」と言えば、分かってもらえると思うよ。

Dさん 松林ウォークも参加できるようにイベントを企画するって、どうかしら。

Aさん そうね。若い世代が参加したくなる活動を考えているの、どうかしら。

Cさん 知らない人から「郷づくりって何？」と尋ねられたときは「地域のコミュニティ協議会ですよ」と言えば、分かってもらえると思うよ。

Eさん 郷づくりのことは、知っている人から「郷づくりに参加するきっかけがある」といけど・・・。

Dさん 郷づくりに参加するきっかけがある、という人にも来てもらいたいね。

Bさん 今、郷づくりに参加している人だけじゃなくて、市外から引っ越してきた人や、市内に住んでいても郷づくりの事を知らないという人にも来てもらいたいね。

Cさん それに、団塊の世代の人が自分の住む地域で活躍できるようにすればいいと思う。

Eさん 市が、郷づくり交流センターの整備を進めているから、その場に地域の人々が気軽に立ち寄って、交流できるスペースになるといいな。

Aさん 私みたいに引っ越してきてきた人が、気軽に参加できるイベントがあればいいね。地域の人や文化、自然を知れる機会がほしいな。

Dさん 市が、郷づくり交流センターの整備を進めているから、その場に地域の人々が気軽に立ち寄って、交流できるスペースになるといいな。

Bさん 私みたいに引っ越してきてきた人が、気軽に参加できるイベントがあればいいね。地域の人や文化、自然を知れる機会がほしいな。

Eさん 郷づくりは、入りにくい印象があるんだよね。外から来た人や若い人は受け入れてくれるんだろうか。

Aさん 郷づくりに参加している人だけじゃなくて、市外から引っ越してきた人や、市内に住んでいても郷づくりの事を知らないという人にも来てもらいたいね。

Cさん それに、団塊の世代の人が自分の住む地域で活躍できるようにすればいいと思う。

Dさん 私みたいに引っ越してきてきた人が、気軽に参加できるイベントがあればいいね。地域の人や文化、自然を知れる機会がほしいな。

Eさん 市が、郷づくり交流センターの整備を進めているから、その場に地域の人々が気軽に立ち寄って、交流できるスペースになるといいな。

Aさん 私みたいに引っ越してきてきた人が、気軽に参加できるイベントがあればいいね。地域の人や文化、自然を知れる機会がほしいな。

Dさん 市が、郷づくり交流センターの整備を進めているから、その場に地域の人々が気軽に立ち寄って、交流できるスペースになるといいな。

Bさん 私みたいに引っ越してきてきた人が、気軽に参加できるイベントがあればいいね。地域の人や文化、自然を知れる機会がほしいな。

Eさん 市が、郷づくり交流センターの整備を進めているから、その場に地域の人々が気軽に立ち寄って、交流できるスペースになるといいな。

Aさん 私みたいに引っ越してきてきた人が、気軽に参加できるイベントがあればいいね。地域の人や文化、自然を知れる機会がほしいな。

Dさん 市が、郷づくり交流センターの整備を進めているから、その場に地域の人々が気軽に立ち寄って、交流できるスペースになるといいな。

Aさん そう思わない。郷づくりに関わらない人がいるから、若い人の関心がなかったり、たくさん課題があるね。郷づくりの今後のために。

Cさん 海や山が近くにあって自然が豊かで、ゆったり過ごせる環境に魅かれたから。それに、みんな優しく、地域の人がつながっていると感じたことが理由かな。

Eさん 地域の人がつながっているか・・・自分たちにとっては、これが当たり前だけど、改めて言われてみると、自分の住む地域の良さに気付かされるね。

Dさん それって、郷づくりに根付いていっているってことなのかな。郷づくりに定着させるには、人と地域がつながっていくことが重要なかもしれないね。

Bさん 地域の人がつながっているか・・・自分たちにとっては、これが当たり前だけど、改めて言われてみると、自分の住む地域の良さに気付かされるね。

Eさん それって、郷づくりに根付いていっているってことなのかな。郷づくりに定着させるには、人と地域がつながっていくことが重要なかもしれないね。

Aさん そう思わない。郷づくりに関わらない人がいるから、若い人の関心がなかったり、たくさん課題があるね。郷づくりの今後のために。

Cさん 海や山が近くにあって自然が豊かで、ゆったり過ごせる環境に魅かれたから。それに、みんな優しく、地域の人がつながっていると感じたことが理由かな。

Eさん 地域の人がつながっているか・・・自分たちにとっては、これが当たり前だけど、改めて言われてみると、自分の住む地域の良さに気付かされるね。

Dさん それって、郷づくりに根付いていっているってことなのかな。郷づくりに定着させるには、人と地域がつながっていくことが重要なかもしれないね。

Bさん 地域の人がつながっているか・・・自分たちにとっては、これが当たり前だけど、改めて言われてみると、自分の住む地域の良さに気付かされるね。



- ①中学生との合同による松林保全活動
- ②住民や企業との合同による清掃活動
- ③子どもの登下校時の見守り隊
- ④安否や救助の方法を確認する防災訓練
- ⑤生きがいづくりや健康づくり活動

人と地域の絆をつくる郷づくり

郷づくり基本構想を策定

市は郷づくりのこれまでの取り組みから見てきた課題を踏まえ、3月に郷づくり基本構想を策定しました。今後は郷づくりごとに「郷づくり計画」を策定し、更なる地域自治を目指します。

関係者に聞いた郷づくりの現状

Aさん これまでの郷づくりを振り返って、良かったことと言えば、子どもが地域の中に入りやすくなったことかしら。親が見ていない所でも、「〇〇さんの子ども」と地域の人が見守ってくれて、育ててもらっているわ。

Bさん 私は自治会長をしながら、郷づくりを通して、これまで全く知らなかった他の自治会長や郷づくりの役員と知り合いになれたよ。人とのつながりを広げることができて、自治会を越えた困り事にも取り組むことができて良かった。

Cさん 私みたいな引っ越してきて、地域に関わりたい40代の男性

Dさん 中学校のPTAの役員としても活動している40代の女性

Eさん 10年前に転職を機に関東から移住してきた50代の男性

Bさん 松林の保全活動や見守り隊として活動している60代の男性

Aさん 子2人と郷づくり活動に積極的に参加している30代の女性

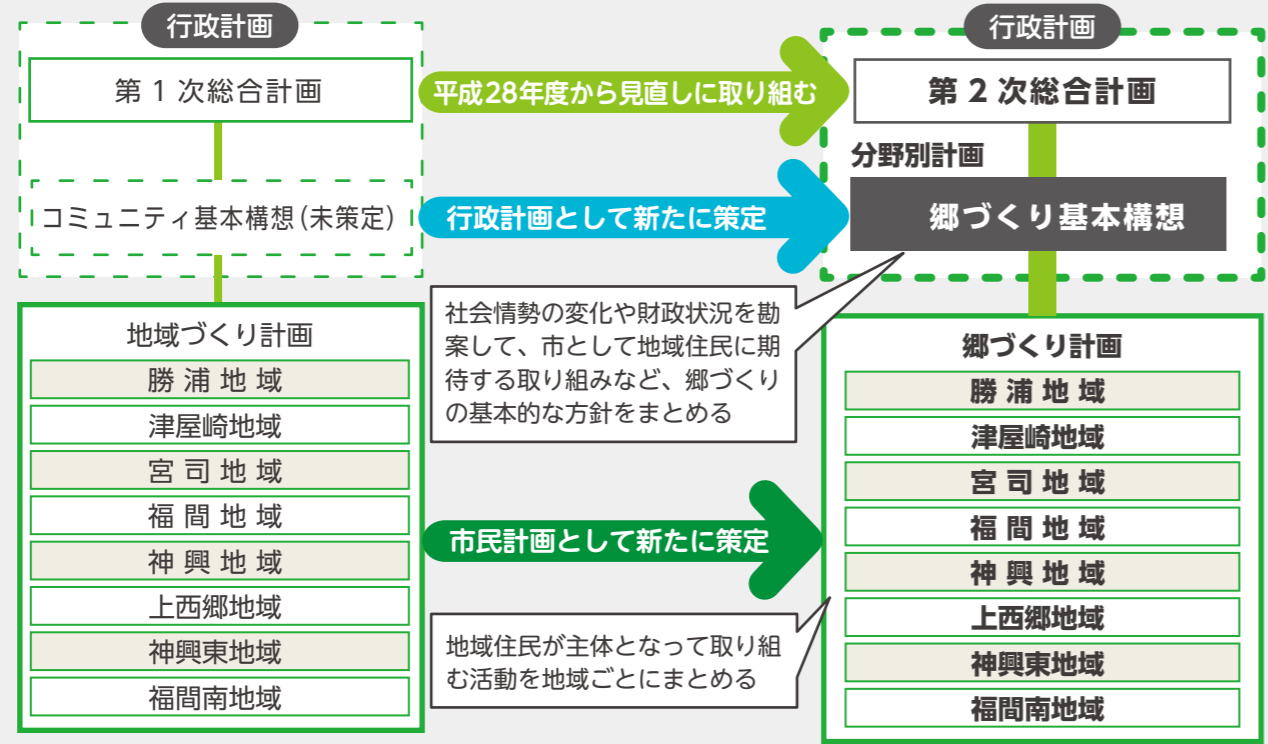
Cさん 最近市内に引っ越してきた、地域に関わりたい40代の男性

Dさん 中学校のPTAの役員としても活動している40代の女性

Eさん 10年前に転職を機に関東から移住してきた50代の男性

Bさん 松林の保全活動や見守り隊として活動している60代の男性

計画策定のイメージ



取り組み② 郷づくりを支える人材確保
誰もが気軽に参加できる取り組みで、次世代の人材育成

取り組み③ 郷づくりの持続可能な活動の展開
無理なく続けられ、地域の課題解決につながる活動内容

取り組み④ 郷づくりの組織や体制の強化
役員や自治会長などの負担を軽減し、市職員も積極的に参加

取り組み⑤ 郷づくりの支援強化
活動拠点の整備や活動運営資金などの充実

郷づくりの将来像
郷づくり基本構想では、今後、郷づくりを進めることで目指す将来の姿を「人と地域の絆をつくる 郷づくり」としました。この将来像には、市民が生きがいを持って、いきいきと活動できることや、市民の手による地域課題の解決、人の絆や地域の絆を深め、安心安全に暮らすことができ、郷づくりを目指すとの意味が込められています。

※基本構想の詳細は市公式ホームページをご覧ください

郷づくりの計画策定や部会活動にご参加ください

これまでの地域づくり計画は、地域住民が主体となる活動に加えて、行政が主体となる施策と事業が混在していました。

郷づくり基本構想では、郷づくり地域が主体となって取り組む活動を「郷づくり」と再定義しました。

今回、各地域で策定される「郷づくり計画」は、地域住民が主体となって策定する郷づくり地域の行動計画であり、各地域の実情と課題を踏まえたものになるように、各郷づくり推進協議会にお願いしています。

郷づくりの負担軽減を図るため、これまでの福祉、防犯、防災、環境・景観、子育て支援の4つの必須分野を見直し、必須分野を福祉、防犯・防災の2つに絞り、他の分野は、選択制として地域の実情に応じて柔軟に対応できるようにしました。

また、これまでの検証で課題とされた認知度不足や後継者不足、参加者不足などに対し、どのように取り組むかについても郷づくり計画に盛り込み、持続性のある郷づくり体制の構築を目指します。

各郷づくり推進協議会では、これまでの取り組みの評価と検証を行い、意見を集約や今後の課題に向けた協議などを経て、平成31年4月からの計画運用を目指して策定作業を進めます。

今後は、郷づくり推進協議会ごとにアンケートや意見交換会の開催などが予定されています。その際は、積極的にご参加ください。

また、各郷づくり推進協議会の各分科会（福祉・防犯・防災・環境・景観、子育て支援、活性化等）の活動にも積極的なご参加をお願いいたします。

問い合わせ 市郷づくり支援課 ☎62・5017

郷づくり推進協議会の事務局員に聞く ―― 私の地域の自慢



郷づくり基本構想とは

郷づくりの新たな指針を策定
市では、平成19年度から郷づくりに取り組んできました。しかし、先に地域づくり計画を策定したものの、市としての地域コミュニティの指針や方向性を示した構想や基本計画がありませんでした。

郷づくりの取り組みが始まり、さまざまな課題が具体的に現れてきました。これまでの郷づくりを振り返り、今後にも郷づくりを持続させていくために必要なことを評価し、検証した結果を分析しました。その上で郷づくり推進協議会と自治会の位置づけや役割を明確にするとともに、市の支援などを体系的にまとめた「郷づくり基本構想」を3月に策定しました。

「郷づくり」って?
郷づくりとは「自分たちの地域に合ったやり方で支え合い、協力し合うことで、安心して暮らせるまちにしていこう。自分たちの地域は自分たちで

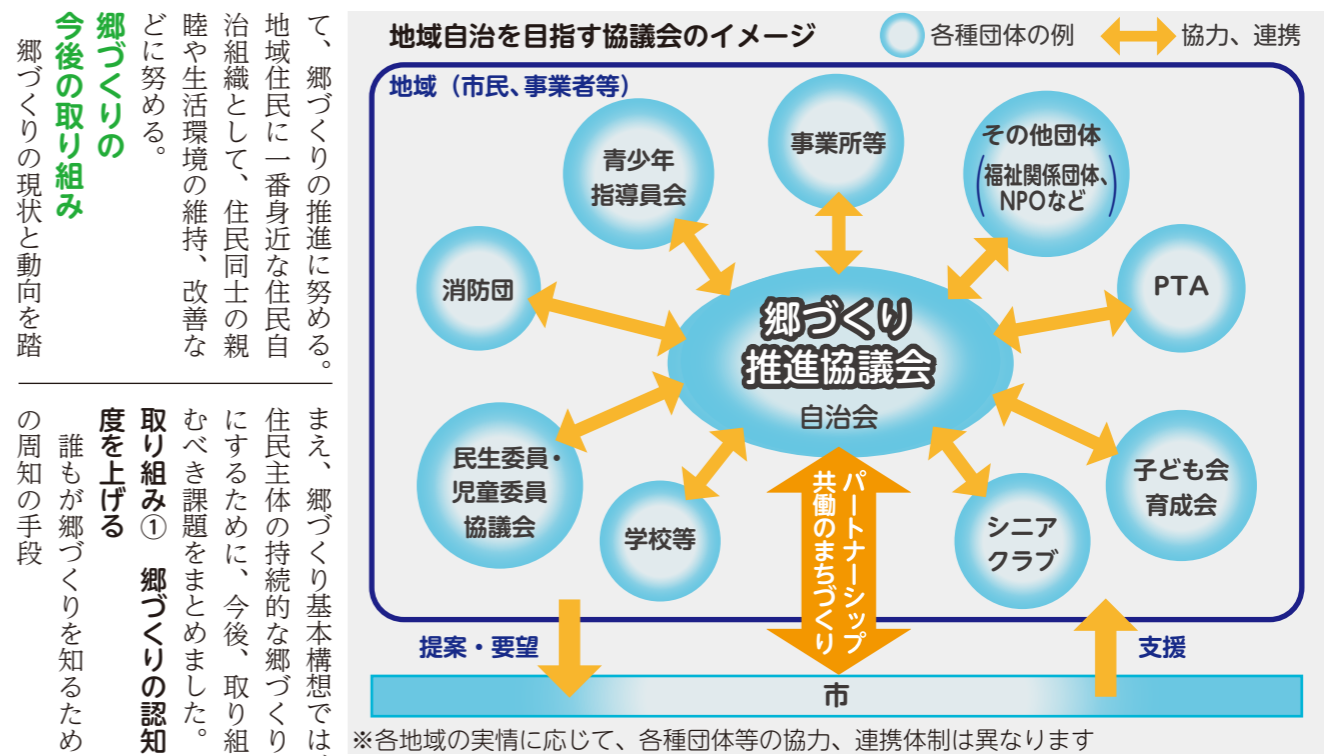
育てる」という地域づくりのことです。市内をおおよそ小学校区を単位とした8つの地域（津屋崎小学校区のみ津屋崎と宮司の2地域）に分けて、それぞれの地域に郷づくり推進協議会を設立しています。

協議会と自治会の位置づけ、役割を明確に
郷づくり推進協議会

- 位置づけ 自治会を基軸として、各種団体や事業所などで構成する市民の自主的な組織
- 役割 郷づくり地域の代表として、市政運営に欠かせない市と共働のまちづくりのパートナーとなって、地域自治の実現を目指す。 ※共働とは「共通の目的を持つ市民、事業者や市が、地域課題や情報を共有し、お互いの立場や特性を尊重して、共に汗して行動すること」という意味

自治会

- 位置づけ 地縁によって作られた住民自治組織
- 役割 郷づくり推進協議会を構成する中心的な団体として



今後の取り組み
郷づくりの現状と動向を踏

まず、郷づくり基本構想では、住民主体の持続的な郷づくりにするために、今後、取り組むべき課題をまとめました。

取り組み① 郷づくりの認知度を上げる
誰もが郷づくりを知るための周知の手段